不悉者
ふしつのもの 弐
ARIAS-NANIGAYA ORIE.ASATO PRESENTS
クラウドの視点による
ニブルヘイムからの逃走中の物語

不惑者式（ふしつのもの）

ザカザカEジェノバ

不悉者（ふしつのもの）
弐

不悉者(ふしつのもの) 弐

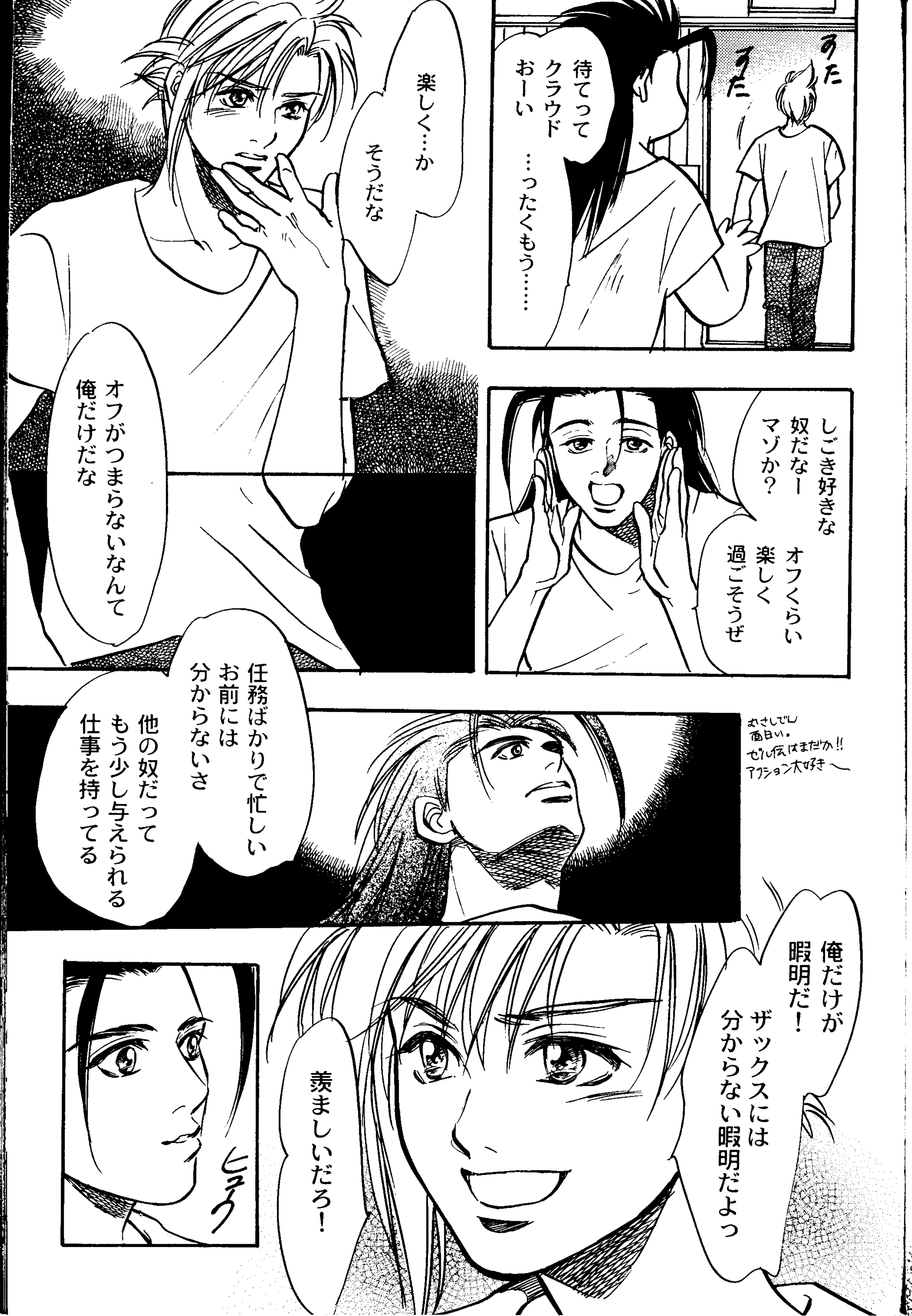
前書き

この話は、クラウドとザックスがニブルヘイムから脱し、ミッドガル近辺に辿り着くまでをクラウド側から見たものです。同じ時をザックス側から見た、不失者というタイトルの話と対になっています。反対側から始まっていますので併せて御覧頂ければ幸いです。

サルサDEジェノバ
不悉者(ふしつのもの)
一九九八年八月一四日発行
発行元・エイリアス何賀屋
印刷所・コーシン出版
連絡先・223－0057
横浜市港北区新羽町
一六九一－一－二〇五
麻里おりえ
乱丁・落丁本はお取り替え致します。

よーう クラウド
そんなとこで たそがれちゃって 何してんの
……
ん？
……べつに。任務ないから ヒマなんだ
なんだよ 早く言えよ 俺も今日 休みでさ
ちょうどいいや 遊びにいこーぜ
せっかくの休日 もったいねえ使い方 してんなよー
つむぎとエイランチは どこにいるの？ 2連ずつやしてるのに みつかりまへん… 誰か教えて〜 ← むさしでん

どうせ俺は毎日もったいなく過ごしてるよ
どこ行くんだこっちこっち
天気のいい日にする事っつったら
ナンパ
に決まってんだろ！
一人で行けば？
俺は時間を有効に使うべくジムでトレーニングでもしてくる
まあまあナンパも鍛錬のうちだって
どこが！
俺は躰を鍛えに行くんだってば
ナンパはスリルとサスペンス。
度胸も技術も必要、成功した時の充実感は最高！これすなわち
精神を鍛える鍛錬なり！
共に心豊かになりましょうや！


すたすた
待てって クラウド おーい
…ったくもう……
しごき好きな奴だなー マゾか？
オフくらい楽しく過ごそうぜ
楽しく…か
そうだな
オフがつまらないなんて俺だけだな
任務ばかりで忙しいお前には分からないさ
他の奴だってもう少し与えられる仕事を持ってる
むさしでん面白い。
ゼル伝はまだか!!
アクション大好き～
俺だけが暇明だ！
ザックスには分からない暇明だよっ
羨ましいだろ！
ヒュウ

すげえなー クラウド
「だけ」って思えるのはすげえよ！ 自分でそう認められるなんてよっぽどの自身家だな！
？
やーっぱ 俺がみこんだ通りだな
そういう奴だと思ってた
この男は分かってない　なにもかも　俺の惨めさを辛さを
またイヤミが通じない…
そして自分がどんなに失礼で、他人の傷を剔(えぐ)ってるか――

ふしつのもの
不悉者
弐
割り切ったものの言い方で攻撃することの残酷さを
この男は昔からまったく分かっていないんだ
カタ

俺が一番嫌いなのはザックスのこの目で
何か珍しいものでも見るような…
この間、俺は興味と好奇心の対象でしかない
観察されているような気になって…ひどく不快だった
俺の何がそんなに面白いのか
それは今でも変わらない
食える？
リンゴ食う？
あーかじってやった方がいいかなやっぱ

ジッ
あ…でも、なんだか
見つめられる事が以前ほど苦痛じゃない
何故だろう
正気を保っていないと思われてるからなのか…
それに目線を外したりしたら
状態が戻ってる事に気付かれてしまうかもしれないし
…甘えてるだろうか
でもザックスだってそういう風に俺を扱うし
言い出すタイミングを完全に逃してしまってる…

こんな演技
自分でも馬鹿だと
思うけど
取りあえず
神羅を撒いて逃げ延びる
までは仕方がないか…
よろしく
あたし
ユマ
この船の食堂で
下働きしてるの
あ、ユマ
そいつちょっと
話せないから
あ
そうなの？
でもこれだけは
分かってもらわ
なきゃ困るの
あんた達は
ジュノンに着くまで
密航犯罪者なのよ！
あたしはそれを
見逃してる
同罪なんだから
絶対ここから
出ないって
約束して頂戴！

見付かったら
あたしの首まで
飛ぶんだから
いいわね！
苦手だ
ユマ
俺がちゃんと
ついてってっから
この女の人
苦手だ
なんて
高圧的な
ものの言い方
…ジュノンに
着くまでの間だ
どうせ俺はこんなだし
放っといてくれるだろう
かえって良かった
かもしれない
マトモな時だって
足手まといにしか
ならないんだ

足手纏いでいるよりは完全な弱者でいた方が
周囲だって諦めがつく…
クラウド あんたも皮むきしてよ
ははっ 何言ってんだ ムリムリ
そいつメシさえまともに食えやしねーんだから
だったら教えればいいじゃない 甘やかしすぎなんじゃないの?
おお！まったくその通りだぜ！
いやーっ 気付かんかったぜ 俺バカ?
いいこと言うじゃん おまえ！
何を今さら……
え

そうだな 学習すりゃあ いいんだ 俺がみっちり しこんでやる
今日から俺は お前の教則だ！
ええ
なーに 心配すんな
俺のマネして 覚えていきゃ いいんだからよ
なんでそうなるーっ
クッ…
クラウド・ストライフです ……
よ、よろ 宜しくお願い します……

ああ
スタ
スタ
………
認識して
もらえなかった？
俺、自信ないよ
ザックス
どうして俺が
メンバー選考に
残ったんだろう
セフィロスと
お前が出るような
大きな仕事に…
そんなわけ
ねぇよ
返事したん
だろ
生返事って
やつかな…
そりゃ
クラウドが
ニブルヘイム出身
だからだろ
……
ちょっと違う
こたえを
期待していた →
土地勘ある奴
いた方が
いいじゃん
そーゆーのも
自分のセールスポイント
にしちゃえばいいだろ
ほら
アピール
してこいや！
リトライいけ！
あ…あのー……

俺の故郷は
今度の任地である
ニブルヘイムなんです！
しーーーん…
ザックスの
バカヤローっ
故郷か
それで
どうした
かあーー
里帰りを兼ねた
責務が嬉しいのか？
あいにく俺は
人選に
関与していない
礼なら人事部に
言うんだな

……べつに……
嬉しいわけじゃありません
むしろ羞恥の思いです
まただ
ザックスの言い分をまに受けてうまくいった事なんて一つもない
よう、クラウド どうだった？
実際はタイミングとかその場の雰囲気に左右されて

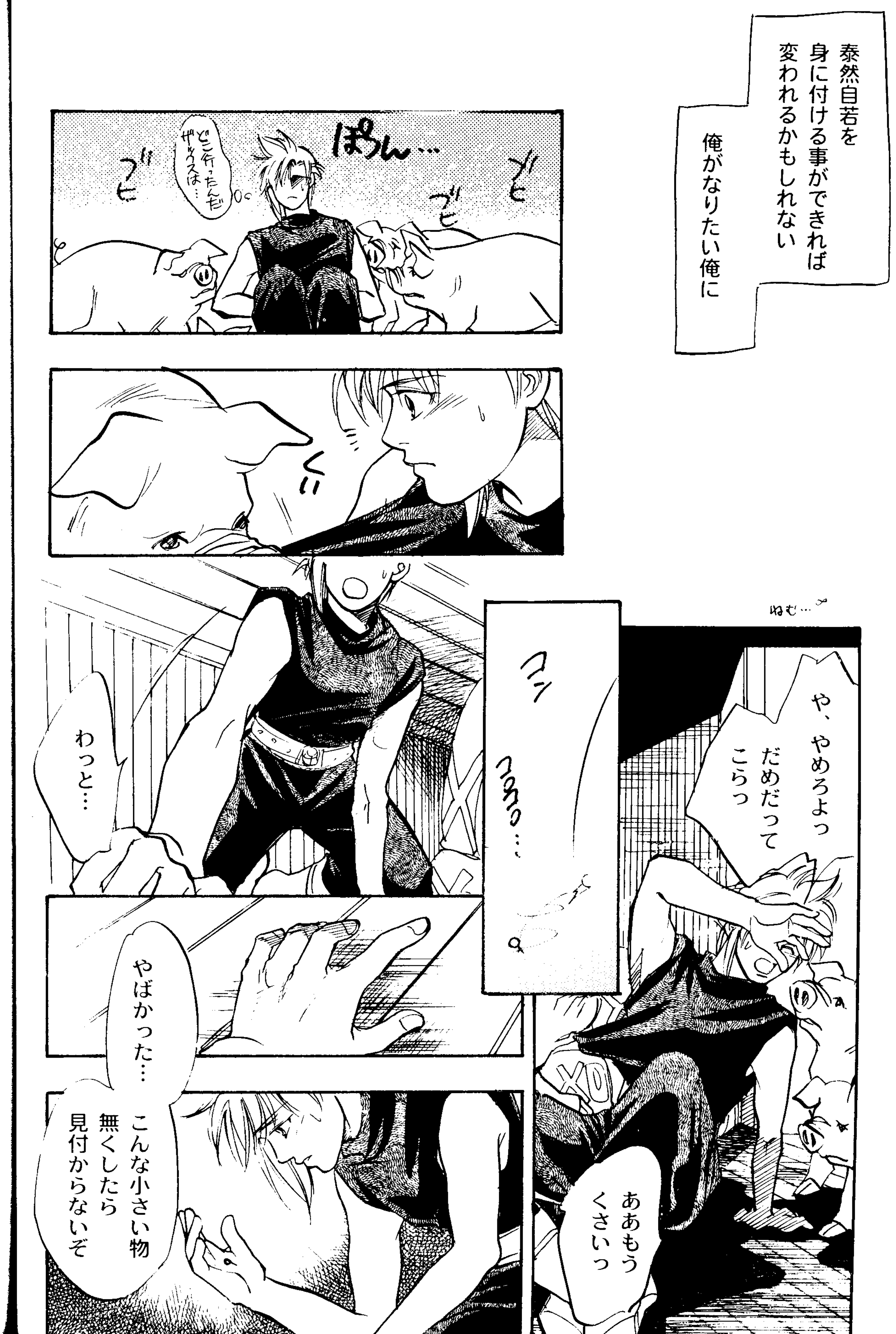
俺の思う方向とは違うような結果になるのが常なんだ
ぶんっ
ーーで勝った時のポーズ♡
見せ場だからなビシッと決めろビシッと！
基本から教えろよ…
生活面とかよあるだろいろいろ
ずっと前にも言った気がするけどさ
要は勝ちゃいーの勝てば！
型とか流儀なんて関係ない殺られる前に息の根を止めろ
まずストップとかで動きを封じる手もあるけど
俺はそーゆーの性に合わないんだ時間の無駄だしな

やられても怒りに変換する術を覚えればつよくなる
なんでも自分の利にしちまったもん勝ちだ
分かるか?
ん〜〜〜〜っ
いまいち分かってないみたいだな〜っ
………
分かってるよ
──ま、一応戦いのコツを一言で言うとな、
冷静でいることだ
俺って一見チャラチャラしてるように見えるだろ
自覚はあるのか…
けどなー実はしっかり人の動きを読んでたりするわけよ

俺が思うに やっぱ、セフィロスのオッサンはソルジャーとしては超一級品さ
滅多な事で動揺しないし 決断も早い
覚えてっか？ 俺達が神羅に入隊してすぐの頃受けた研修で言われたこと
「脳内死亡率を高くしろ」
何も感じるな 考える前に 躰が動いてこそ 生き残れる

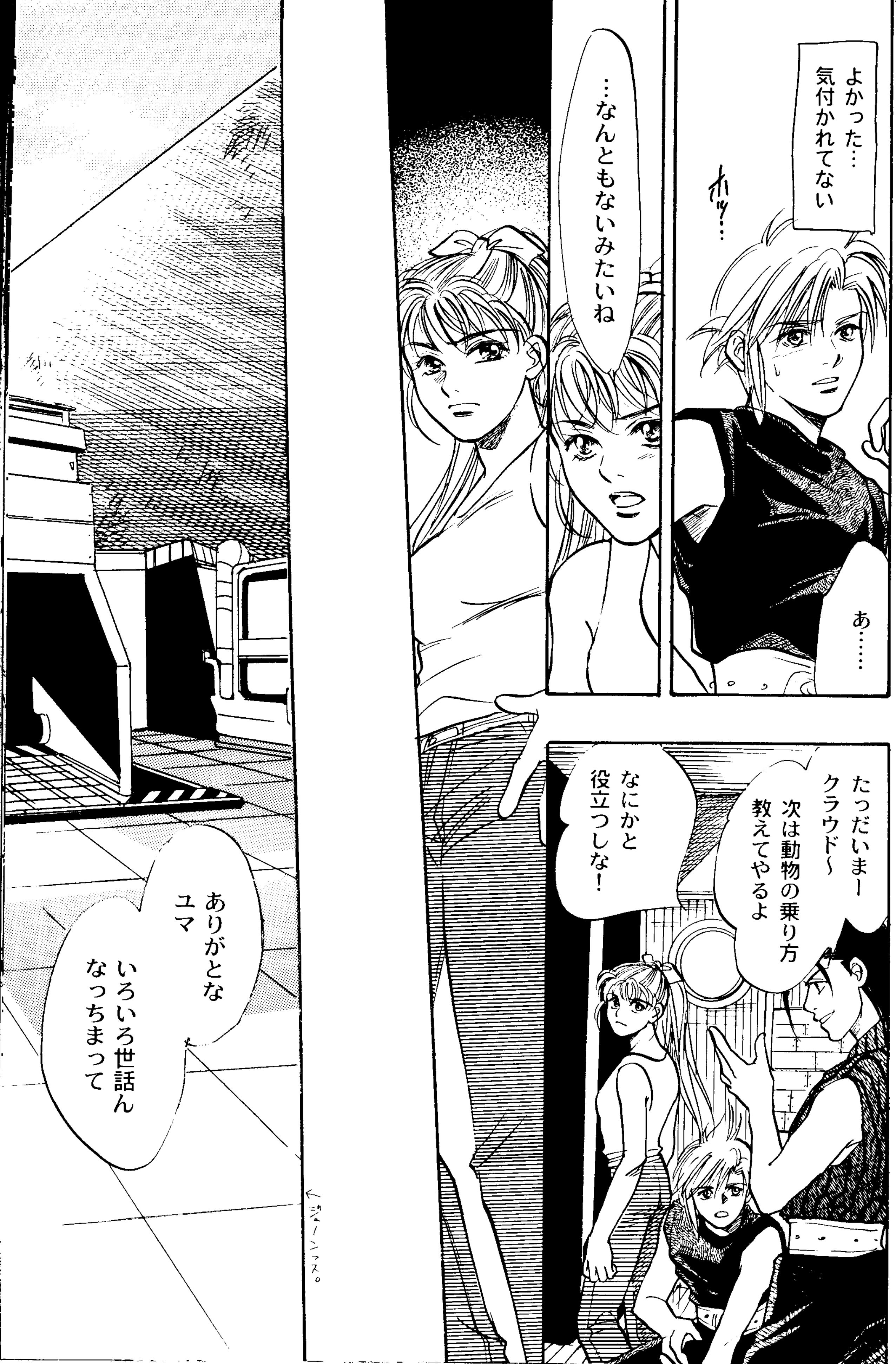
痛みや恐怖は無感情に慣れる事で克服せよ
冷静こそが身を助く
ああ…そういえば忘れていた…
ま、クールな奴がかっこいい。
ってこと？
俺がながしてしまってた事をザックスは覚えていたんだ…
クラウドなんてクールの素質ありそうじゃん
人前じゃあまり喋らねーし
かっこつけだしな
そんな風に思われていたのか…
しかしそんなオッサンがキレて暴れるとはどーゆう事かねえ…
うーん気になるぜ

ザックスは何もしなくても
本能でいろんな事を
拾得していくと思ってた
でもそれは
もって生まれた素質
なんかじゃなくて
ある意味
努力と呼ぶべきもの
なんだろうか…
きっと同じ
経験をしても
ザックスは俺より
多くの疑問に気付き
多くの知恵を得て
次に活かすだろう
興味を持ったり
好奇心が強かったり
するのは
「強さ」なんだ…
ザックスは
冷静な目の素質が
あると言った
そうは言ってない
…なら
——俺は？
俺の強さは
何処にあるだろう


泰然自若を
身に付ける事ができれば
変われるかもしれない
俺がなりたい俺に
ぽちん…
どど
どど
どこ行ったんだザックスは…
くい
ぬむ…
や、やめろよっ
だめだって
こらっ
コン
コロコロ…
わっと…
ああもう
くさいっ
やばかった…
こんな小さい物
無くしたら
見付からないぞ

食うなよ
お前ら～
俺のじゃないんだから…な…
…なんで取ってきてしまったんだろう
ザックスが宿代の代わりに置いてきたピアス
あの場所に立ち寄った証拠になる物の隠滅の為…
それだけか？
欲しかった…のかな
気が付いたら持ってきてしまってた…

ほんっ
あら 何持ってんの クラウド 見せ…
はっ
しまった
…クラウド
………
…ごめんね クラウド 痛かった? ひっかいた かしら 大丈夫?


よかった…気付かれてない
ホッ…
あ……
…なんともないみたいね
たっだいまー クラウド〜
次は動物の乗り方教えてやるよ
なにかと役立つしな！
ありがとなユマ
いろいろ世話んなっちまって
←ジョーンズっス。

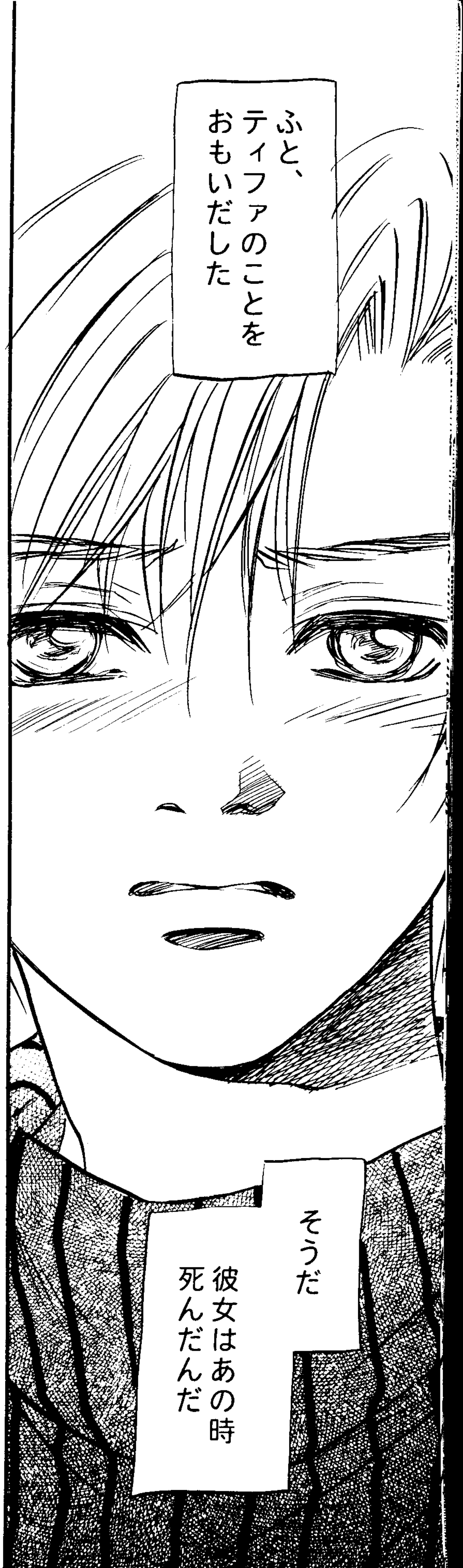
気を付けて
ああ あんたも 元気でなーっ
やたら長く感じる 船旅だった…
なんで船って 止まる時あんなに 揺れるんだろ…
なぁ クラウド
お前しばらく 一人で 暮らせるか？
ひとまず 安全なとこ 見つけたらさ
そこで 待ってて ほしいんだ
――え?!
俺どうしても 知りたい
何て言った？

しまった 反対でぶくう

一度ニブルヘイムに
戻って
確かめたい事がある
今…
「待っててほしい」って
そう言ったのか?
どうして?
キュ
道中を共にしてる
だけだとばかり…!
分からない
どういうつもり
なんだ、ザックスは
まさか一生
俺の面倒みる
覚悟で…
ミッドガルに着いても
一緒に居るつもり
なのか…ザックスは
だったら俺はこの
「狂ったフリ」なんて
いう茶番をいつまで——
しまった 反対てぶくろ

ザックス！
ユ…
ユマ？
ザックス！
なんだよ そんなに 離れがたいの？
まいったなー あ、クラウド ちょっとあっち 行っててくれる？

初めて会ってから
たった数日間の間に
彼女はこんなにも
ザックスのことを
好きになっていたんだ…
あいつは
身を案じて心配してくれる
人をたくさん持ってる
周りにそれだけ
人間がいるからだ
ザックスの興味や
好奇心は
何時だって様々なものに
向けられていたから



名乗り出せなくて
守れなくて
知られないまま
先に戦わせてしまった

たった一人
俺と約束を交わした人

焼け落ちたニブルヘイムは
元に戻っても
ティファは戻らない

彼女はもういないんだ